

## オフィス・インフォメーション

### 謹んで新春を お慶び申し上げます

皆様のご健康とご多幸を  
心よりお祈り申し上げます。

2006年(平成18年)元旦



京都外国語大学附属図書館  
京都外国語短期大学附属図書館

### 中学生の「生き方探求・チャレンジ体験」 を受け入れました

本学図書館は、昨年の10月25日(火)から27日(木)にかけて、京都市が主催する「生き方探求・チャレンジ体験」に協力して中学生2名を受け入れました。この研修では、本学図書館員とともに中学生が児童図書コーナーを設置し、本学の学生に対して児童図書の案内を行いました。また、児童文学に関する貴重書の一部も展示し、利用者は中学生の熱心な説明に興味深く耳を傾けていました。



### 学園祭協賛行事「フォーラム 学生と図書館」を開催しました

本学図書館では、昨年の11月4日(金)の午後2時から、学園祭協賛行事「フォーラム 学生と図書館」を開催しました。今回のテーマは「私の見た図書館 院生の立場から」で、図書館でのアル

バイト経験者も含めた大学院生の皆さんに、図書館利用法や、論文の書き方などの発表をしていただきました。

会場となった第3閲覧室には、学園祭開催中にも拘わらず外大祭実行委員長の前田友亮さんをはじめ、多くの一般学生の方々に参加していただき、盛んな意見交換が行われました。

### 「日本におけるドイツ年2005/2006」 記念稀観書展示会「日本で知られたドイツの世界」を開催しました

本学図書館は、昨年の11月26日(土)から12月3日(土)にかけて、稀観書展示会「日本で知られたドイツの世界」を開催しました。

会場となった国際交流会館6階ユニバーシティギャラリーには、本学図書館のドイツ関係のスペシャルコレクションである写本(マニュスク립ト)や挿絵期本(インキュナビュラ)はじめ、「マルティン・ルター」、「ヨーハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ」、「フリードリヒ・フォン・シラー」の著作など、ドイツに関する貴重書67点を展示しました。さらに、グリムやリルケなど有名な文学者の自筆書簡も出展いたしました。

なお、この展示会には学生や教職員の皆様だけでなく、多くの学外の方々も見学に訪れました。



### 「データベース・ノーベル文学賞」に掲載している蔵書が5,000冊を超えました

このほど、本学図書館で公開している「データベース・ノーベル文学賞」の収録冊数が5,000冊を超えました。このデータベースは平成15年度に約3,500冊を集めてスタートしたもので、第一回受賞者から昨年のハロルド・ピンター氏まで受賞者の作品を検索することができ、今後もより多くの作品を収集していく方針です。